報道資料

くらしの中に
総務省
MIC Ministry of Internal Affairs and Communications

令和５年10月18日

「デジタル時代における放送の将来像と制度の在り方に関する取りまとめ（第２次）」及び意見募集の結果の公表

総務省は、デジタル時代における放送制度の在り方に関する検討会（座長：三友仁志 早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授）において策定された「デジタル時代における放送の将来像と制度の在り方に関する取りまとめ（第２次）（案）」について、令和５年９月７日（木）から同月28日（木）までの間、意見募集を行ったところ、109件の御意見の提出がありました。

その結果等を踏まえ、「デジタル時代における放送の将来像と制度の在り方に関する取りまとめ（第２次）」が策定されましたので、これを公表するとともに、意見募集の結果についても公表します。

１．概　要

総務省では、令和３年11月８日（月）から「デジタル時代における放送制度の在り方に関する検討会」を開催し、ブロードバンドの普及やスマートフォン等の端末の多様化等を背景に、デジタル化が社会全体で急速に進展する中、放送の将来像や放送制度の在り方について、中長期的な視点から検討を行い、令和４年８月５日（金）に、デジタル時代における放送の将来像と制度の在り方に関する取りまとめを公表しました。

その後、同取りまとめにおいて引き続き検討が必要とされた課題等について、更なる検討を重ねてきました。

同検討会において、「デジタル時代における放送の将来像と制度の在り方に関する取りまとめ（第２次）（案）」が策定されたことから、これについて、令和５年９月７日（木）から同月28日（木）までの間、意見募集を行ったところ、109件の御意見の提出がありました。

その結果等を踏まえ、「デジタル時代における放送の将来像と制度の在り方に関する取りまとめ（第２次）」が策定されましたので、意見募集の結果とともに公表します。

２．公表資料

（１）「デジタル時代における放送の将来像と制度の在り方に関する取りまとめ（第２次）」：**別紙１**

（２）「デジタル時代における放送の将来像と制度の在り方に関する取りまとめ（第２次）（案）」に対する意見募集の結果：**別紙２**

３．資料の入手方法

別紙の資料については、e-Gov（https://www.e-gov.go.jp）の「パブリック・コメント」欄に掲載します。

また、提出された御意見等については、総務省情報流通行政局放送政策課（総務省11階）において閲覧に供するとともに配布します。

＜関連報道資料＞

○　デジタル時代における放送制度の在り方に関する検討会
<https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/kenkyu/digital_hososeido/index.html>

○　「デジタル時代における放送の将来像と制度の在り方に関する取りまとめ（第２次）（案）についての意見募集」（令和５年９月６日）
<https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu07_02000267.html>

連絡先
情報流通行政局放送政策課
（担当：田中統括補佐、勝畑係長）
電　話：０３－５２５３－５７７７（直通）